Make Future Project

～新しい原風景をこの街に～

©Mito HollyHock All Rights Reserved

As of 11th Feb.

Make Future Project

◆Brand Promise『新しい原風景をこの街に』の実現に向けて

水戸ホーリーホックは、子供達の教育プログラム、スポーツを通じた交流機会などを通し、
ステークホルダーの皆様の新しい原風景をこの街を創っていきます。

◆Club Vision：夢と感動と一体感の共有に向けて

夢と感動と一体感の共有に向けて、教育をキードライバーに、
地域に根ざし、地域と共に歩み、地域と共に発展していきます。

◆Club Value	各プログラムにおけるキーファクター
協働　チームワークを発揮	協働することの大切さ
本質　なぜを問い続ける	なぜサッカーをするのか、なぜ働くのか
挑戦　前に踏み出す	前に踏み出す勇気を伝播
本物　高いレベルで要求し合う	本物が集う場だからこそ得られる気付きを

©Mito HollyHock All Rights Reserved

Make Future Project　プロジェクトの位置付け：子ども向けプログラムの総称とする（案）

Ⅰ.スポーツ体験教室

常陽銀行

子どもたちのボール運動体験およびサッカー体験を通じて、スポーツの楽しさに触れていただくとともに、子どもたちへは生きていく姿勢《みんなで取り組むということ、他人を敬い思いやる心、自己肯定観の育成、自助自立しようとする気持ち、新しいことへ向かう勇気、仲間へ自分の考えをうまく伝える術（すべ）と仲間の考えを聞き取り受け入れる心持ち（コミュニケーションをとる力）、落ち着いて物事を考えるということの習慣化（真剣になる時間の必要性）、協力することの大切さ》を、子どもたちの年代の特徴に応じて伝えていきます。

◆Value:　挑戦　前に踏み出す　前に踏み出す勇気を伝播

Ⅱ.チャレンジフェスティバル

水戸証券

高い志を持つ仲間が集まり、技術向上と健全な心身の育成を図るとともに、指導者同士の情報・意見交換の場としても活用し、自チーム及び選手個々の育成を図るという趣旨のもと、ジュニアユース年代の大会である「水戸ホーリーホックカップU-13」と、ユース年代の大会である「水戸ホーリーホックユースカップ」からなり、全国から参加チームが集まる大会として毎年開催しております。

◆Value:　本物　高いレベルで要求し合う　本物が集う場だからこそ得られる気付きを

Ⅲ.人間力を育む授業

NEW

小学校での道徳、総合的な学習や特別活動の授業を活用し、特別授業を実施（原則クラス毎での実施）します。プロサッカーチームのトレーニングメソッドを活用した脳と体のアクセスを良好にするゲームを用いたアイスブレイクから始まり、講師の原体験とともに様々な気づきの機会を与えながら、人間力の向上に働きかけ、生きる力を育みます。

◆Value:　協働　チームワークを発揮　協働することの大切さ

Ⅳ.プロサッカークラブに学ぶキャリア教育

NEW

チームビジョンに則った地域貢献の取り組みの一環として、地域に根差す'プロスポーツクラブの経営'を通じたキャリア教育プログラムを提供します。
'地域のプロスポーツチーム'という馴染みやすい題材を通して、生徒から見える仕事だけでなく、見えていない仕事も紹介し、さらには、事業収益についても触れることで、みなさんが今後のキャリア、またそれに必要な知識や技能について考えるきっかけを提供します。

◆Value:　本質　なぜを問い続ける　なぜサッカーをするのか、なぜ働くのか

©Mito HollyHock All Rights Reserved

Make Future Project

2021年度実績

Make Future Project　2021年度実施校におけるアンケート結果の総論

◆人間力を育む授業（小学校）

指導要領に沿ったテーマについて、94.3%の児童が学びがあったと回答

93.5%の児童がまたこの授業を受けたいと回答

96.3%の児童が楽しかった回答

◆キャリア教育　働くことの本質を問う（中学校）

先生方への事前アンケートで平均値より高い期待をいただいた項目は生徒も高い評価と期待を示している

働くことへの理解が、自己へのフォーカスからCSV寄りの考え方へ変化が見られる生徒が多い

地元就職に関する興味4.08点に対し、次回への期待値が4.21　　興味が高まった可能性

Make Future Project 人間力を育む授業　2021年度実績

No.	アンケート・ワークシート	日時	授業時間	学校名	クラス	人数	講師	テーマ	実施場所	内容
1	未実施	6/15	1時限目	水戸市立鯉淵小学校	1年2組	28	中川賀之	挨拶・ルールを守る	体育館	テーマの要素を盛り込んだゲームと講師からのメッセージ
2	実施	6/15	23時限目	水戸市立鯉淵小学校	3年2組	23	中川賀之	一生懸命	体育館・教室	テーマの要素を盛り込んだゲーム・講話
3	実施	6/15	45時限目	水戸市立鯉淵小学校	4年1組	39	細川淳矢	挨拶・一生懸命	体育館・教室	テーマの要素を盛り込んだゲーム・講話
4	未実施	6/22	1時限目	水戸市立鯉淵小学校	1年1組	24	森勇人	チャレンジ	体育館	テーマの要素を盛り込んだゲームと講師からのメッセージ
5	未実施	6/22	2時限目	水戸市立鯉淵小学校	2年1組	27	森勇人	一生懸命	体育館	テーマの要素を盛り込んだゲームと講師からのメッセージ
6	実施	6/22	34時限目	水戸市立鯉淵小学校	3年1組	23	細川淳矢	チームワーク	体育館・教室	テーマの要素を盛り込んだゲーム・講話
7	実施	6/22	5時限目	水戸市立鯉淵小学校(分校)	4-6年生	6	本間幸司		施設内中庭	チームビルディングゲーム・サッカー・講師からのメッセージ
8	実施	6/28	23時限目	水戸市立鯉淵小学校	6年1組	33	中山開帆	頑張る	体育館・教室	テーマの要素を盛り込んだゲーム・講話
9	実施	6/28	34時限目	水戸市立鯉淵小学校	5年生	28	村田航一	主体的	体育館・教室	テーマの要素を盛り込んだゲーム・講話
10	実施	7/6	56時限目	ひたちなか市立長堀小学校	6年123組	100	小島耕	夢	体育館	テーマの要素を盛り込んだゲーム・講話
11	未実施	10/8	34時限目	水戸市立城東小学校	5年1組	40	中川賀之	夢	水戸市少年自然の家	テーマの要素を盛り込んだゲーム・講話
12	実施	11/6	34時限目	水戸市立堀原小学校	6年1組	39	本間幸司	困難に立ち向かう力	体育館	テーマの要素を盛り込んだゲーム・講話
13	未実施	12/6	2時限目	水戸市立見川小学校	6年1組	30	岡本將成	「勇」 失敗を恐れず，卒業まで突き進め	体育館	テーマの要素を盛り込んだゲームと講師からのメッセージ
14	未実施	12/6	3時限目	水戸市立見川小学校	6年2組	31	今掛航貴	「友協笑夢」 友達と協力し笑って夢を叶える。	体育館	テーマの要素を盛り込んだゲームと講師からのメッセージ
15	未実施	12/6	4時限目	水戸市立見川小学校	6年3組	31	大崎航詩	「楽しいおもいで」 おもいで→おもいやり・一生懸命・できるまで	体育館	テーマの要素を盛り込んだゲームと講師からのメッセージ
16	WSのみ実施	1/19	56時限目	常陸大宮市立大賀小学校	6年1組	15＋保護者	中川賀之	夢	体育館	テーマの要素を盛り込んだゲーム・講話

Make Future Project 人間力を育む授業　2021年度アンケート結果（回収率48%）

Make Future Project 人間力を育む授業　アンケートDataBase

	総評			今回の感想					次回への期待度				
	今回	次回への期待	乖離	とても思う	やや思う	普通	やや思わない	思わない	とても期待する	やや期待する	普通	あまり期待しない	期待しない
1. 楽しかった	4.83	4.74	0.09	218	20	5	3	1	206	21	17	2	1
2. 気付きや学びがあった	4.64	4.64	0.00	184	41	20		2	184	40	21		2
3. 今日のテーマについて学ぶことができた	4.68	4.63	0.05	186	47	11	2	1	185	37	22	2	1
4. またこの授業をうけたい	4.75			207	24	13	1	2					

1ページ

実績　　n= 247　　**4.72**

日付	学校	学年	人数	テーマ	スコア	1	2	3	4	1	2	3
6/15	水戸市立鯉渕小学校	4	40	チームワーク	**4.86**	4.93	4.73	4.85	4.93	4.90	4.88	4.85
6/15	水戸市立鯉渕小学校	3	23	一生懸命	**4.71**	4.78	4.35	4.78	4.91	4.78	4.52	4.57
6/29	水戸市立鯉渕小学校	5	25	主体性	**4.49**	4.72	4.40	4.36	4.48	4.28	4.36	4.36
6/29	水戸市立鯉渕小学校	6	31	頑張る	**4.59**	4.58	4.58	4.58	4.61	4.52	4.45	4.45
7/6	ひたちなか市立長堀小学校	6	93	夢	**4.85**	4.96	4.83	4.78	4.83	4.87	4.78	4.76
11/6	水戸市立塚原小学校	6	35	困難に立ち向かう力	**4.55**	4.69	4.46	4.46	4.57	4.69	4.40	4.43

Make Future Project 働くことの本質を問う　2021年度実績

No.	アンケート・ワークシート	日時	授業時間	学校名	クラス	人数	講師	テーマ	実施場所
1	実施	6月23日	6時限目	学校法人常磐大学 智学館中等教育学校	123年生	55	中川賀之 波多野恵介	働くことの本質を問う	シアタールーム
2	実施	6月26日	34時間目	那珂市立第一中学	2年生	200＋保護者	中川賀之	働くことの本質を問う	体育館
3	実施	6月29日	34時間目	日立市立久慈中学校	2年生	109	中川賀之	働くことの本質を問う	体育館
4	未実施	11月4日	5時限目	東海村立東海中学校	1年生	20	中川賀之	働くことの本質を問う	オンライン
5	ワークシートのみ	11月5日	5時限目	水戸市立赤塚中学校	2年生	130	中川賀之	働くことの本質を問う	体育館
6	ワークシートのみ	12月7日	5時限目	水戸市立第四中学校	2年24678組	314	中川賀之	働くことの本質を問う	体育館
7	ワークシートのみ	12月7日	6時限目	水戸市立第四中学校	2年生1359組		中川賀之	働くことの本質を問う	体育館

Make Future Project 働くことの本質を問う　アンケート回収１校のみサンプル実施

水戸ホーリーホック：プロサッカークラブに学ぶキャリア教育

智学館中等教育学校

テーマ：働くことの本質とは

学年　　年　　n=　53

①地域経済とのつながり		先生方の事前の期待						生徒の評価						生徒の次回への期待					
		とても期待する	期待している	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない			とても思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない		とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない
1.自身と地域の企業のつながりを考えることができた	4.75	9	3					4.38	26	22	4	1		4.36	25	22	6		
2.地元地域で働くことに興味をもった	4.00	4	5	2	1			4.08	17	25	10		1	4.21	22	20	11		
②プログラムの内容		**先生方の事前の期待**						**今回の評価**						**次回への期待度**					
3.将来自分が働くことを考えた	4.75	9	3					4.21	21	24	7		1	4.34	26	19	8		
4.働くことの意義・意味を考えるきっかけとなった	4.58	7	5					4.26	23	22	7	1		4.32	25	20	8		
③探求的な考え・視点		**先生方の事前の期待**						**今回の評価**						**次回への期待度**					
5.学校生活・私生活における自身の課題に気付くきっかけとなった	4.42	5	7					3.98	13	28	11		1	4.17	19	24	10		
6.学校生活・私生活を普段と違う視点見るきっかけとなった	4.42	5	7					4.06	19	20	13		1	4.08	18	21	14		
④よりよく解決する資質		**先生方の事前の期待**						**今回の評価**						**次回への期待度**					
7.今回気付いた課題の解決に向け、必要な知識や技能を考えるきっかけとなった	4.33	5	6	1				4.19	21	22	9	1		4.13	16	28	9		
8.その課題解決に必要な知識・技能と学校の授業のつながりを実感することができた	4.42	5	7					4.06	18	22	12		1	4.13	16	28	9		

⑤主体的・協働的な解決力		先生方の事前の期待				今回の評価						次回への期待度				
9.今回気付いた課題、または日頃の課題の解決に向けて取り組みを、始めてみようと思った	4.42	5	7			4.00	15	24	13	1		4.17	20	22	11	
10. 9.について、誰の、または、どんなサポートが必要なのか考えるきっかけとなった	4.33	5	6	1		4.13	21	19	12	1		4.19	24	15	14	
⑥自己の生き方を考える		**先生方の事前の期待**				**今回の評価**						**次回への期待度**				
11 .『学ぶこと』の意義を考えるきっかけとなった	4.58	7	5			4.30	26	19	7		1	4.28	25	18	10	
12. 自分の生活や行動と、社会とのつながりを考えるきっかけとなった	4.58	8	3	1		4.26	23	23	6		1	4.30	28	14	10	1
平均スコア	**4.47**					**4.16**						**4.22**				

アンケート結果について

総論：先生方の期待値が高い項目に関しては、生徒の反応も平均値を上回り、生徒の次回への期待も高く、先生方の想いと授業の内容・生徒の反応が合致していることが見て取れる
企業について考えたり、自分自身が将来働くことを意識するなど、働くこと自体への興味・理解は一定の成果が見られるが、今やりたいと思っていることに対してどのような知識・技能や必要なのか
など、自身と重ねて考えてみるきっかけとなるようなアプローチは次回以降もう少し時間を割いてもよいと思われる反応を示しています

生徒コメント

・社会にとって良いことをしている会社で働きたいと思った
・働くことはお金を稼ぐだけではなく、社会のためだと思った
・社会のために本当に役に立っているかが大事だと思った
・自分も社会のために学び、社会のために働きたいと思った
・働くことについて考えることができ、自分がどのような仕事に就こうか考えてみようと思った
・お金をもらうためだけに働いているんじゃないと思った
・働くことは、お金を生み出すだけでなく、人の役に立つ、感動を人に与えることだとわかりました
・とても楽しく為になる時間を過ごせました。ありがとうございました。
・とても為になる授業だと思った
・やりがいってなんだろう
・私達が働くことで街が良くなる
・未来を見据えた行動を取るのが苦手だけど、将来自分がどんな思いで働けるのかを考えて、そんな風になれるような行動を取りたいです
・自分に合った仕事を見つけたいと思った

・ただ試合に出てお金をもらうだけではないのだと気付いた
・色んな人のサポートがあって仕事をするんだなと思いました。
・仕事をするのは楽しそうと感じました
・楽しめる仕事をやりたい
・人のために行動したり、社会について行動することが働くことの本質で、今後は人のために何でも行動していきたいと思います。
・色々な人が支え合って働いて、辛い時もみんなで協力すれば良いのではないかと考えることができました
・人のために働けるといいと思いました
・苦しいことや楽しいことがあるけど、それを耐え抜いて生きようと思いました
・現状を知ることができ、将来どう働くべきかとよく考えられました。ありがとうございました。
・もしかしたら自分が環境を汚しているのではないかと思った
・社会のためになっている仕事なのかどうかを考えられるお話でよかった
・将来の職業を考える際に、企業りねんを参考にしてみようと思った
・自分が何のために働いて、生きていくのかじっくり考えてみようと思った

Make Future Project　授業の様子

小学校向け：人間力を育む授業

‘人間力を育む授業’

【対象】小学１～６年生

【講師】プロ選手、又はプロキャリアや日本サッカー協会公認指導者ライセンスを有するスタッフ

【構成】①教室での講話　１時限
②体育館でのアクティビティを通した気付き＋教室での講話　２時限
③体育館でのアクティビティを通した気付き＆振り返り　１時限

【効果】夢、友情、思いやり、助け合い、コミュニケーション、規律性、協調性等にアプローチすることにより
人間力の向上が期待出来る。

【中長期的目標】少年非行率・少年犯罪の減少、平和及び非暴力文化の推進

©Mito HollyHock All Rights Reserved

メッセージテーマ

夢

夢

講師が夢を追い求める過程で経験した苦しかったことやツラかったことをありのまま語ります。夢を持つキッカケから、夢を追い求めていく過程の中で学んだこと、感じたこと、そして夢を掴んだ後に見えた景色はどのようなものだったのかを児童、生徒と共有します。

困難に立ち向かう心

困難に立ち向かう心

講師がどのような失敗や挫折を経験し、それらをどのように乗り越え、それによって何を学び、何を得ることができたのかを児童・生徒に伝えていきます。人は必ず困難を経験します。それらを乗り越えた人だからこそ伝えられるメッセージがあります。

一体感

一体感

チームスポーツを通じて一体感の大切さを感じた原体験を伝えていきます。講師本人が感じた一体感を言語化し、講師の原体験を児童・生徒と共有することにより、チームスポーツで得た経験を次世代を担う児童・生徒に還元していきます。

思いやり

思いやり

講師が経験した思いやりにまつわる話を披露します。なぜ思いやりが大切なのか、思いやりに欠けたために起きた失敗談や他者からの思いやりを感じたエピソードなどを交え、体感してきた経験を児童・生徒に伝えていきます。

感謝

感謝

「ありがとう」の気持ちを持っていなかったために起きた現象や「感謝」の想いを表現できなかったが故に起きた事例を語ります。「ありがとう」の気持ちを持つ大切さや「感謝」の想いを体現することによってどんな変化が起きたのかも児童・生徒に伝え、生きる力をはぐくむことにアプローチします。

※他テーマも応相談

©Mito HollyHock All Rights Reserved

‘人間力を育む授業’と道徳科指導必須項目との相関

Make Future Project　人間力を育む授業

No	指導項目	小学校1,2年	小学校3,4年	No	指導項目　小学校5,6年
A. 自分自身に関すること					
1	善悪の判断 自立,自由と責任	○	○	1	自主、自律、自由と責任
2	正直、誠実	○	○		
3	節度、節制	○	○	2	節度、節制
4	個性の伸長	○	○	3	向上心、個性の伸長
5	希望と勇気、努力と強い意志	○	○	4	希望と勇気、克己と強い意志
				5	真理の追求、創造
B. 人との関わりに関すること					
6	親切、思いやり	○	○	6	思いやり、感謝
7	感謝	○	○		
8	礼儀	○	○	7	礼儀
9	友情、信頼	○	○	8	友情、信頼
10	相互理解、寛容		○	9	相互理解、寛容
C. 集団や社会との関わりに関すること					
11	規則の尊重	○	○	10	遵法精神、公聴心
12	公正、公平、社会正義	○	○	11	公正、公平、社会主義
				12	社会参画、公共の精神
13	勤労、公共の精神	○	○	13	勤労
14	家族愛、家庭生活の充実	○	○	14	家族愛、家庭生活の充実
15	よりよい学校生活、集団生活の充実	○	○	15	よりよい学校生活、集団生活の充実
16	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	○	○	16	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度
				17	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度
17	国際理解、国際親善	○	○	18	国際理解、国際親善
D. 生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること					
18	生命の尊さ	○	○	19	生命の尊さ
19	自然愛護	○	○	20	自然愛護
20	感動、畏敬の念	○	○	21	感動、畏敬の念
				22	よりよく生きる喜び

©Mito HollyHock All Rights Reserved

中学校向け
プロサッカークラブに学ぶキャリア教育

働くことの本質を問う

プロサッカークラブに学ぶキャリア教育　～働く事の本質を問う～

50分１コマ・教室での実施

【前半】 本質　なぜ水戸ホーリーホックはサッカーをするのかを説明

クラブの礎であるミッション・ビジョン・バリューと
クラブの選手教育プログラムで策定する選手のミッション・ビジョン・バリューを紹介し、
なぜ我々がクラブを運営するのか、なぜ選手がサッカーを続けるのか、
‘仕事としてのサッカー、をする・支える’の視点でお伝えすることで、
働くことの意義・意味を生徒へ訴求します。

【後半】 本質　地元企業の経営理念から、地域の経済連鎖を理解する

クラブを支えてくださる地域のスポンサー**企業の経営理念などを**
紹介し、ステークホルダー・経済連鎖などの理解を通じて
自分たちが住む街・企業を知り、**なぜ事業を営むのか、なぜ働くのか**、
そんなことを考える機会を提供します。

×

Make Future Project

【ゴール】 この街を好きになり、将来この街に還って働く生徒を増やしたい

地元の企業を知り、地元で働き、地元に貢献することの意義を考え、
中長期的には、地元の労働人口増加、まちづくりへとつながることを目指した取組です。

©Mito HollyHock All Rights Reserved

参考：‘クラブの本質・クラブ理念’ と ‘選手の本質・ミッション・ビジョン・バリュー’

クラブの本質・クラブ理念

新しい原風景をこの街に

社会との約束
ブランドプロミス

ふと人生の節目を迎えたとき、同じ時代、同じ街で共に育ち成長できたあの日々、幸せを感じられたあの瞬間、感情を揺さぶられたあの場所、それら全てが水戸ホーリーホックと関わる日々によって記憶された風景であったと気づく。
歴史を継承し、未来の誰かの心に刻まれる新しい原風景を一緒に創っていくことを約束します。

実現したい未来
ビジョン

夢と感動と一体感の共有に向けて、
地域に根ざし、地域と歩み、地域に貢献し、地域と共に発展します。

使命/存在意義
ミッション

人が育ち、クラブが育ち、街が育つ

行動規範/価値観
バリュー

協働　チームワークを発揮
本質　なぜを問い続ける
挑戦　前に踏み出す
本物　高いレベルで要求し合う
粋　感性を磨く
仁　相手を思いやる
善　自分に正直であれ

選手の本質・ミッション・ビジョン・バリュー

Mission

自身の頑張り、行動次第でステップアップできることを世の中に示すこと

Vision

健全な競争と個人の成長を通じて底上げされる組織、社会をつくる

Value

・常に何のために練習してるか考える
・練習から常に 100% 出し切る
・サッカー以外でも人としての価値を高める
・発信する
・他選手と常に高め合う姿勢
・置かれた環境でやるべきこと、できることを冷静に判断しやりきる
・俯瞰してものごとをみる

©Mito HollyHock All Rights Reserved

プロサッカークラブに学ぶキャリア教育　～商流で分類した地域企業とその経済連鎖のイメージ～

製造
- 食料品
- 飲料
- 衣料
- 薬品
- 家電
- 住宅
- 自動車
- 印刷
- ・・・

卸・中間
- 総合商社
- 専門商社
- 問屋
- 市場
- ・・・

小売り
- スーパー
- デパート
- コンビニ
- ネット販売
- 専門店
- ・・・

インフラ
- 電気
- ガス
- 水
- 通信
- ・・・

消費者向けサービス提供企業
- 教育
- 医療
- 情報
- 輸送
- 観光
- 金融
- その他サービス
- ・・・

©Mito HollyHock All Rights Reserved

社会的インパクトの検証

※引き続き教育者の皆様・自治体の皆様と共に協議を重ね策定予定

持続可能な社会的インパクトの検証に対する考え方

共通の価値観 → 実現に向けた取組 → 結果（Outcome）

Value → Output → 短期 → 中期 → 長期

小学校向けプログラム・人間力を育む授業

本質	教育	機会の増加	少年の非行率低下	平和な地域会社の実現
子ども達の人間力を高め、平和なまちづくりに貢献する	夢、友情、思いやり、助け合い、コミュニケーション、規律性、協調性等にアプローチすることにより人間力の向上を目指す	プログラム参加児童数の増加	実施地域における少年犯罪率・少年非行率を検証	平和な地域社会の実現
		指標1:プログラム参加生徒数 指標2:独自アンケート指数	指標:今後協議	指標:今後協議

中学校向けプログラム・プロサッカークラブに学ぶキャリア教育

本質	教育	機会の増加	労働力増加	地域活性化
なぜその事業を営むのか なぜ働くのかを考え、 まちづくりの担い手を育てる	水戸ホーリーホックの選手教育プログラム、地域に根差すスポンサー企業様の経営理念等を紹介しながら、働く意義、地域への想いなどを醸成する	キャリア教育プログラム参加生徒数の増加	実施校における地元進学率・地元就職率を調査	労働人口増加が与える経済的インパクト・生産力増加を検証する
		指標1:プログラム参加生徒数 指標2:独自アンケート指数	指標:今後協議	指標:今後協議

©Mito HollyHock All Rights Reserved

独自アンケート：短期的成果の検証手段

アンケートは３つの要素で構成　**全て同じ項目を質問し、定量評価をすることで先生が抱く期待と生徒の満足度、次回への期待度を相対的に見る**ことができる

Ⅰ.先生：この授業に対する学校の期待値（主催者の想い）
Ⅱ.生徒：今回の満足度（今回の評価　学校の期待値との齟齬を検証）
Ⅲ.生徒：次回への期待度（次回内容への反映）

今回の評価						次回への期待度				
非常に満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	該当しない	非常に期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない

◆指導要領で定めている相互的な学習の目標達成度合い（KPI）

今回の事業で課題を解決することを学ぶのではなく、気付きの場になれば授業のゴールとしては◎

＜1.地域経済連鎖の理解＞
①水戸ホーリーホックや企業の経営理念を通じ、なぜ働くのかを考えるきっかけとなった
②地元で働くことの意義を考えるきっかけとなった

＜2.プログラムの内容理解＞
①今回の授業を通し、職業について考えるきっかけとなった
②今回の授業と通し、会社だけでなく、職種や職務についても考えるきっかけとなった

＜3.探究的な考え・視点＞
③学校生活・私生活における自他の課題に気付くきっかけとなった
④学校生活・私生活を普段と違う（俯瞰的な）視点でみるきっかけとなった

＜4.よりよく解決する資質＞
⑤今回気付いた課題、または日頃の課題の解決に向け、必要な知識・技能について考えるきっかけとなった
⑥課題解決に必要な知識・技能と学校の授業のつながりを実感することができた

＜5.主体的・協働な解決力＞
⑦今回気付いた課題、または日頃の課題の解決に向け、サポートが必要なのか考えるきっかけとなった
⑧誰の、またはどんなサポートが必要なのか考えるきっかけとなった

＜6.自己の生き方を考える＞
⑨学ぶことの意義を考えるきっかけとなった
⑩自分の生活や行動と社会とのつながりを考えるきっかけとなった

指導要領及びプログラム目的に沿った項目において定量評価を実施することでプログラムの価値を創り出す

©Mito HollyHock All Rights Reserved

参考：小学校向けプログラム・'生きる力を育む力'プログラムとSDGsの相関

4.質の高い教育をみんなに　～平和の実現には小さな一歩から～

世界平和は、まず自分がいい人になることから。目の前の相手を思いやることから始まります。

本プログラムでは、目の前の相手を思いやり、ルールのもとで協調しながら目的達成を目指すプロセスで、自分一人が変わることの効果を実感し、世界を変える原体験となることを目指します。

4.7　2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。 By 2030, ensure that all learners acquire the knowledge and skills needed to promote sustainable development, including, among others, through education for sustainable development and sustainable lifestyles, human rights, gender equality, promotion of a culture of peace and non- violence, global citizenship and appreciation of cultural diversity and of culture's contribution to sustainable development	4.7.1　ジェンダー平等および人権を含む、(i)地球市民教育、及び(ii)持続可能な開発のための教育が、(a)各国の教育政策、(b) カリキュラム、(c) 教師の教育、及び(d)児童・生徒・学生の達成度評価に関して、全ての教育段階において主流化されているレベル Extent to which (i) global citizenship education and (ii) education for sustainable development, including gender equality and human rights, are mainstreamed at all levels in (a) national education policies, (b) curricula, (c) teacher education and (d) student assessment

図表4-7-2　内閣府「少年非行に対する世論調査」抜粋

「少年非行に対する世論調査」質問項目	「スポーツ」に係る回答	回答率
問7 あなたは、少年非行について、どのような社会環境が問題だと思いますか（複数回答）	少年が遊んだり、スポーツをする施設や活動の場が少ない	21.8% （全体で9番目）
問14 少年を非行に走らせないようにするため、地域社会の住民はどのように対応するのが良いと思いますか（複数回答）	少年が遊んだり、スポーツをするなど様々な体験をする機会を作る	31.6% （全体で4番目）
問17 警察など行政機関が行う少年の非行防止のための活動について、あなたは具体的にどのような活動に参加したいと思いますか（複数回答）	少年とのスポーツ活動	31.9% （全体で1番目）

調査対象：　全国20歳以上の日本国籍を有する者（有効回収数 1,773人）

調査時期：　平成27年7月23日~8月2日

（出所）内閣府「少年非行に関する世論調査」より日本政策投資銀行作成

出典：総務省作成　SDGs指標仮訳より

Mito HollyHock All Rights Reserved

参考：中学校向けプログラム・'プロサッカークラブに学ぶキャリア教育'とSDGsの相関

8.働きがいも経済成長も　～スポーツと観光の経済連鎖～

観光業のスポンサー企業様の経営理念のご紹介や、水戸ホーリーホックが創り出す経済連鎖的なスポーツツーリズムの紹介を通し、地元における観光業で働く意義・やりがいなどを訴求し、地域における観光人口拡大に寄与します。

8 働きがいも経済成長も	8.9　2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。 By 2030, devise and implement policies to promote sustainable tourism that creates jobs and promotes local culture and products	8.9.1　全GDP及びGDP成長率に占める割合としての観光業の直接GDP Tourism direct GDP as a proportion of total GDP and in growth rate
		8.9.2　全観光業における従業員数に占める持続可能な観光業の従業員数の割合 Proportion of jobs in sustainable tourism industries out of total tourism jobs

11.住み続けられるまちづくりを　～地元の経営理念を知る原体験から地域定着を～

地元の企業の営みの本質を知ることで、地元就職・地域定着を目指し、指標11.3.1・人口増加率への貢献、及び、市民社会の象徴として水戸ホーリーホックが都市計画に主体的に参加していくことで、指標11.3.2へ貢献します。

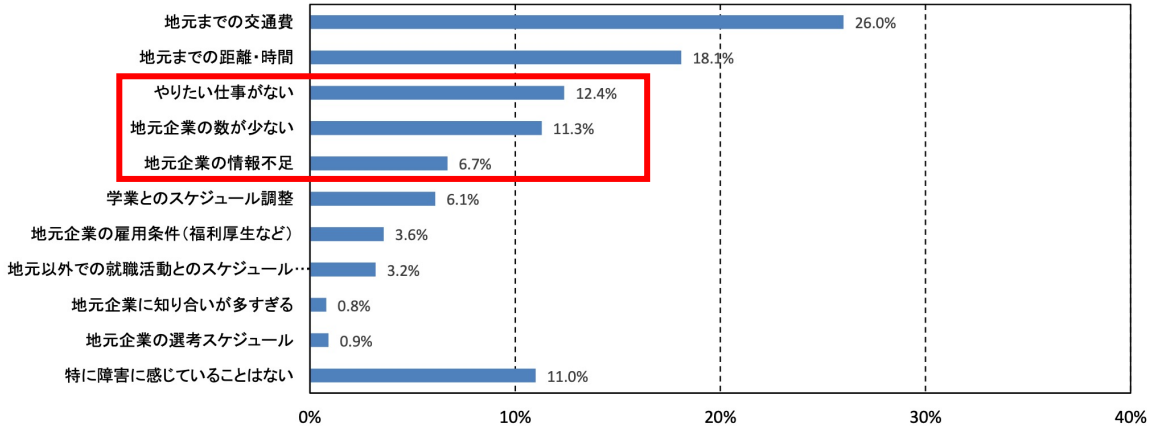
11 住み続けられるまちづくりを	11.3　2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。 By 2030, enhance inclusive and sustainable urbanization and capacity for participatory, integrated and sustainable human settlement planning and management in all countries	11.3.1　人口増加率と土地利用率の比率 Ratio of land consumption rate to population growth rate
		11.3.2　定期的かつ民主的に運営されている都市計画及び管理に、市民社会が直接参加する仕組みがある都市の割合 Proportion of cities with a direct participation structure of civil society in urban planning and management that operate regularly and democratically

出典：総務省作成　SDGs指標仮訳より

©Mito HollyHock All Rights Reserved

参考：地元就職・地域定着に向けて

【地元企業への就職活動で最も障害に感じていること】



(23) 地元就職を「希望しない」「（どちらかといえば）希望しない」と答えた方：地元（Uターン含む）就職を希望しない理由は何ですか。【MA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	20年卒全体
回答数	1,851	204	405	454	788	2,753
実家に住みたくない（離れたい）から	32.3%	32.8%	43.7%	26.0%	34.6%	29.0%
地元に友人が少ないから	5.4%	5.4%	5.9%	4.8%	5.8%	5.0%
地元以外に彼（彼女）がいるから	9.9%	8.3%	10.1%	8.4%	12.9%	8.0%
給料が安そうだから	25.0%	19.1%	14.1%	28.0%	30.1%	23.1%
都会の方が便利だから	40.3%	29.4%	35.1%	38.3%	52.7%	38.3%
大手企業がないから	23.0%	21.1%	17.3%	25.6%	23.7%	21.7%
志望する企業がないから	39.4%	35.3%	37.5%	39.0%	43.9%	38.1%
志望する職種がないから	21.7%	14.2%	21.2%	21.6%	27.3%	20.7%
地域にとらわれず働きたいから	23.6%	19.6%	30.4%	23.3%	23.2%	24.6%
希望するスキルを身につけられないから	9.5%	8.3%	11.6%	8.1%	11.0%	8.6%
地元の風土が好きではないから	6.1%	2.5%	6.7%	6.4%	7.9%	6.4%
特別に暮らしたい地域が他にあるから	8.0%	5.9%	11.6%	6.6%	9.4%	10.3%
（両親が転居するなど）既に地元に拠点が無いから	1.2%	–	1.7%	1.5%	1.1%	4.1%
地元企業を知る機会がないから*	9.4%	7.4%	5.9%	11.0%	10.3%	–

(24) 地元就職を「希望しない」「（どちらかといえば）希望しない」と答えた方：実現すれば地元就職するかもしれないものを選択してください。【MA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子
回答数	2,568	386	632	575	975
地元の経済が活性化する	26.1%	30.8%	22.0%	27.1%	22.6%
給料がよい就職先が多くできる	11.9%	9.8%	11.4%	13.4%	12.2%
地元就職をすることで地元都道府県から手当てがもらえる	12.6%	13.2%	8.5%	12.2%	14.9%
地元に結婚したいと思う相手ができる	8.9%	4.4%	11.6%	8.5%	11.9%
働きたいと思うような企業が多くできる	6.2%	4.1%	7.6%	6.3%	7.2%
地元就職のための情報が大幅に充実する	4.3%	5.4%	3.8%	4.2%	3.6%
地元企業の説明会にWEBで参加できるようになる*	4.9%	5.4%	3.6%	5.7%	3.9%
友人の多くが地元に戻ってくる	4.5%	6.0%	6.3%	3.3%	3.7%

＜全体＞現時点で地元（Uターン含む）就職を希望しますか。【SA】

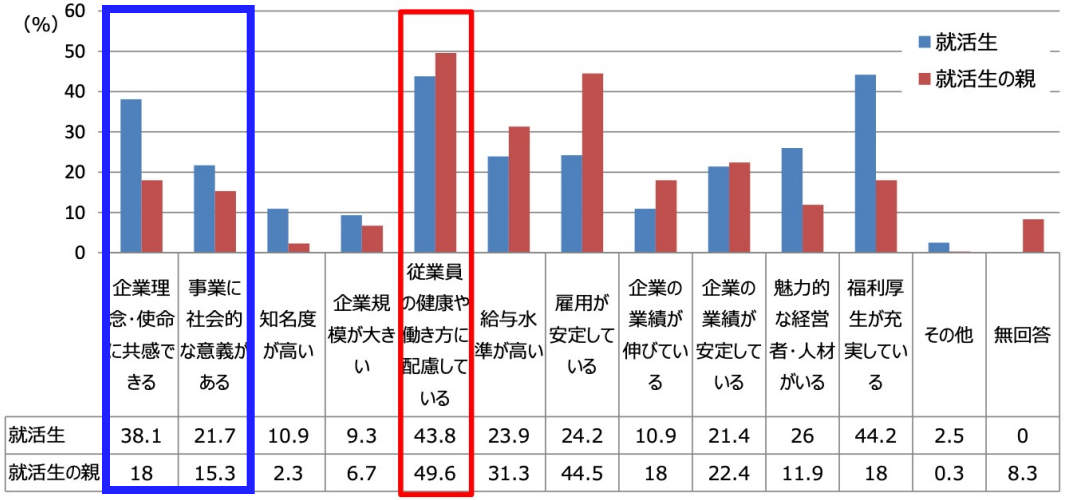
→横軸100%で表示

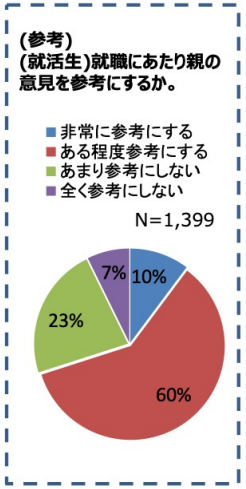
◎卒業高校都道府県別		回答数	希望する	どちらかというと希望する	どちらかというと希望しない	全く希望しない	希望する＋どちらかというと
北海道	北海道	223	33.2%	20.2%	17.0%	29.6%	53.4%
東北	青森県	71	25.4%	15.5%	26.8%	32.4%	40.9%
	岩手県	76	27.6%	18.4%	27.6%	26.3%	46.0%
	宮城県	155	31.0%	27.7%	12.9%	28.4%	58.7%
	秋田県	48	22.9%	16.7%	25.0%	35.4%	39.6%
	山形県	51	23.5%	21.6%	23.5%	31.4%	45.1%
	福島県	80	26.3%	16.3%	21.3%	36.3%	42.6%
関東	茨城県	167	21.0%	20.4%	18.6%	40.1%	41.4%
	栃木県	93	22.6%	18.3%	29.0%	30.1%	40.9%
	群馬県	106	31.1%	17.9%	26.4%	24.5%	49.0%
	埼玉県	346	17.3%	26.9%	20.2%	35.5%	44.2%
	千葉県	293	19.5%	23.9%	19.1%	37.5%	43.4%
	東京都	702	41.6%	22.6%	11.1%	24.6%	64.2%
	神奈川県	469	33.3%	29.4%	14.7%	22.6%	62.7%

地元進学：希望する・どちらかというと希望する　72.1%　　地元外進学：希望する・どちらかというと希望する　30.7%

出典：マイナビ21年卒大学生Uターン・地元就職に関する調査

Q.　（就活生）将来、どのような企業に就職したいか。（３つまで）
Q.　（　親　）どのような企業に就職させたいか。（3つまで）





出典：経産省 健康経営の推進について

©Mito HollyHock All Rights Reserved

水戸ホーリーホックは、Make Future Projectを通じ、
地域における教育活動に貢献し、地域と共に発展します。

©Mito HollyHock All Rights Reserved